

**BASIC+STANDARD問題**

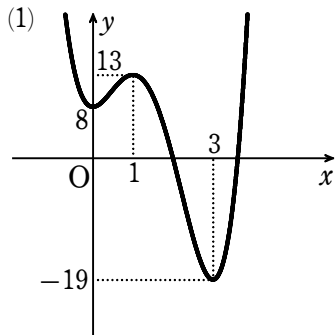
- 1 次関数の増減, グラフの凹凸を調べてグラフの概形をかけ。  

$$y = 3x^4 - 16x^3 + 18x^2 + 8$$
- 2 関数  $f(x) = x - 2\sqrt{x}$  の増減を調べ,  $y = f(x)$  のグラフをかけ。
- 3  $0 \leq x \leq 2\pi$  のとき, 関数  $y = x - \sqrt{2} \sin x$  の増減, グラフの凹凸を調べてグラフの概形をかけ。
- 4 関数  $y = \frac{2x}{x^2 + 1}$  のグラフをかけ。
- 5 関数  $y = \frac{x^2 + x - 1}{x + 2}$  のグラフの概形をかけ。
- 6 次関数のグラフの概形をかけ。  $y = x - 1 + \sqrt{1 - x^2}$
- 7 関数  $y = x\sqrt{8 - x^2}$  のグラフの概形をかけ。
- 8 関数  $y = \frac{\log x}{x}$  ( $x > 0$ ) のグラフの概形を描け。
- 9 関数  $f(x) = (x - 1)^2 e^{-x}$  について, 次の問いに答えよ。  
 (1) 関数  $f(x)$  の極値を求めよ。  
 (2)  $y = f(x)$  のグラフの概形をかけ。ただし,  $\lim_{x \rightarrow \infty} x^2 e^{-x} = 0$  を用いよ。

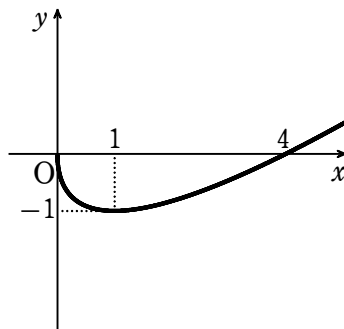
**実戦問題**

- 10 関数  $f(x) = \log(1 + \sqrt{1 - x^2}) - \sqrt{1 - x^2} - \log x$  ( $0 < x < 1$ ) について, 次の問いに答えよ。  
 (1)  $f'(x)$  を求めよ。  
 (2)  $y = f(x)$  のグラフの概形をかけ。  
 (3) 曲線  $y = f(x)$  上を動く点を P とする。点 Q は, 曲線  $y = f(x)$  の P における接線上にあり, P との距離が 1 で, その  $x$  座標が P の  $x$  座標より小さいものとする。Q の軌跡を求めよ。

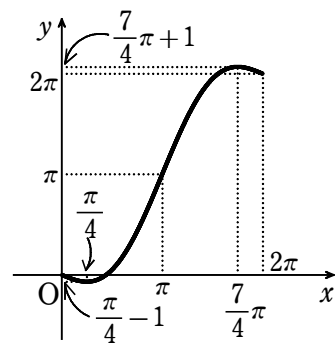
1 解答 (1) [図] (2) [図]



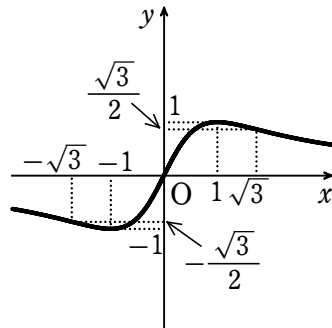
2 解答 [図]



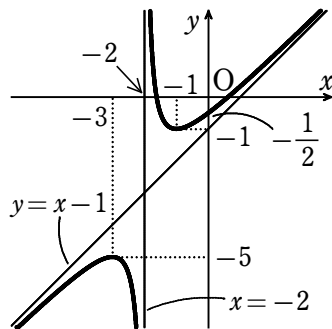
3 解答 [図]



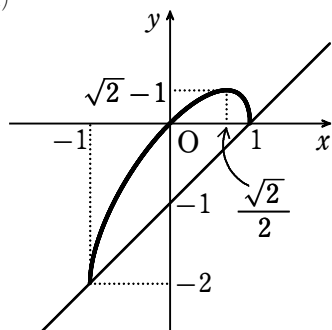
4 解答



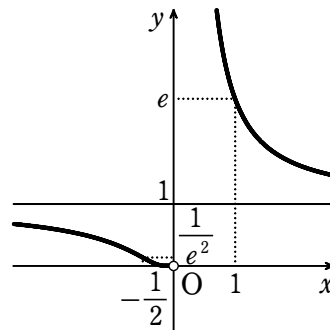
5 解答



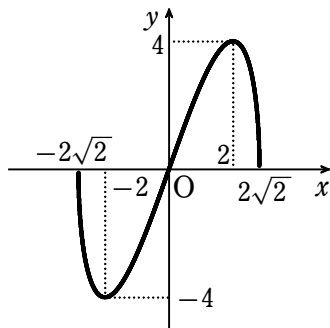
6 解答 (1)



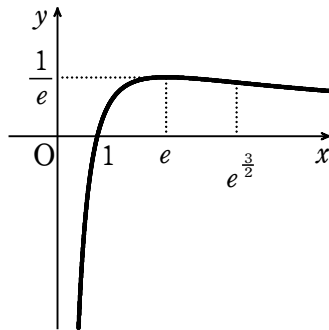
(2)



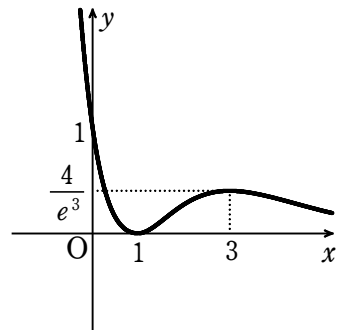
7 解答



8 解答 [図]

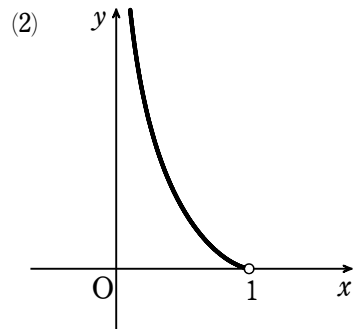


9 解答 (1)  $x=3$  で極大値  $\frac{4}{e^3}$ ,  $x=1$  で極小値 0 (2)



10 解答 (1)  $f'(x) = -\frac{\sqrt{1-x^2}}{x}$  (2) [図]

(3) 直線  $x=0$  の  $y>0$  の部分



1 (1)  $y' = 12x^3 - 48x^2 + 36x = 12x(x-1)(x-3)$

$$y'' = 36x^2 - 96x + 36 = 12(3x^2 - 8x + 3)$$

$$y' = 0 \text{ とすると } x = 0, 1, 3$$

$$y'' = 0 \text{ とすると } 3x^2 - 8x + 3 = 0$$

$$\text{よって } x = \frac{-(-4) \pm \sqrt{(-4)^2 - 3 \cdot 3}}{3} = \frac{4 \pm \sqrt{7}}{3}$$

$y'$ ,  $y''$  の符号を調べて、この関数の増減、グラフの凹凸を表にすると次のようにな

る。

$x$	...	0	...	$\frac{4-\sqrt{7}}{3}$	...	1	...	$\frac{4+\sqrt{7}}{3}$	...	3	...
$y'$	-	0	+	+	+	0	-	-	-	0	+
$y''$	+	+	+	0	-	-	-	0	+	+	+
$y$	↘	極小	↗	変曲点	↗	極大	↘	変曲点	↘	極小	↗

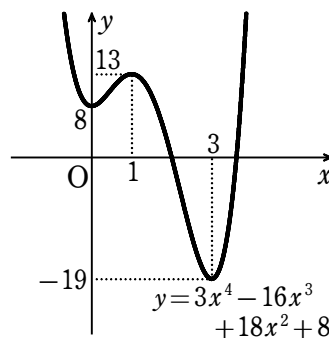
ゆえに、 $y$ は

$x=0$ で極小値8,

$x=1$ で極大値13,

$x=3$ で極小値-19をとる。

よって、グラフの概形は右図のようになる。

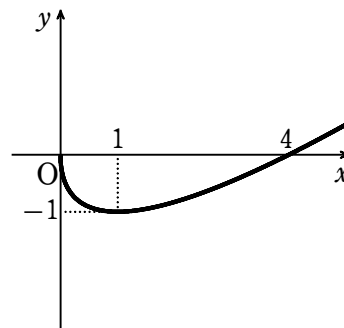


②  $f(x) = x - 2\sqrt{x}$ ,  $f'(x) = 1 - \frac{1}{\sqrt{x}}$

$f'(x)$  とすると  $x=1$  また  $x \geq 0$

よって、 $f(x)$  の増減表は次のようになる。

$x$	0	...	1	...	$+\infty$
$f'(x)$		-	0	+	
$f(x)$	0	↘	-1	↗	$+\infty$



$\lim_{x \rightarrow +0} f'(x) = -\infty$

また、曲線  $y=f(x)$  と  $x$  軸との共有点の  $x$  座標を求めると  $x - 2\sqrt{x} = 0$   $x = 2\sqrt{x}$

両辺を平方して  $x^2 = 4x$  よって  $x=0, 4$

以上により、 $y=f(x)$  のグラフは、上の図のようになる。

③  $y' = 1 - \sqrt{2} \cos x$ ,  $y'' = \sqrt{2} \sin x$

$y'=0$  とすると  $\cos x = \frac{1}{\sqrt{2}}$  よって  $x = \frac{\pi}{4}, \frac{7}{4}\pi$

$y''=0$  とすると  $\sin x = 0$  よって  $x=0, \pi, 2\pi$

$y'$ ,  $y''$  の符号を調べて、この関数の増減、グラフの凹凸を表にすると、次のようになる。

$x$	0	.....	$\frac{\pi}{4}$	.....	$\pi$	.....	$\frac{7}{4}\pi$	.....	$2\pi$
$y'$	/	-	0	+	+	+	0	-	/
$y''$	/	+	+	+	0	-	-	-	/
$y$	0	↘	極小	↗	変曲点 $\pi$	↗	極大	↘	$2\pi$

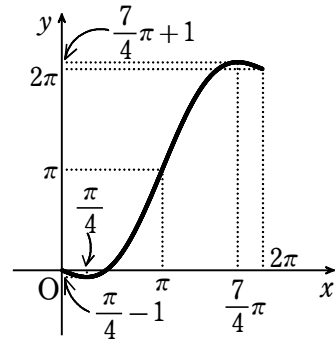
ゆえに、 $y$ は

$$x = \frac{\pi}{4} \text{ で極小値 } \frac{\pi}{4} - 1,$$

$$x = \frac{7}{4}\pi \text{ で極大値 } \frac{7}{4}\pi + 1$$

をとる。

以上から、グラフの概形は右図のようになる。



4  $y = \frac{2x}{x^2+1}$  の定義域は実数全体である。

$$\text{また、 } y' = \frac{-2(x^2-1)}{(x^2+1)^2}, \quad y'' = \frac{4x(x^2-3)}{(x^2+1)^3}$$

であるから

$$y' = 0 \text{ となる } x \text{ の値は } x = \pm 1$$

$$y'' = 0 \text{ となる } x \text{ の値は } x = 0, \pm\sqrt{3}$$

よって、 $y$ の増減とグラフの凹凸は、次の表のようになる。

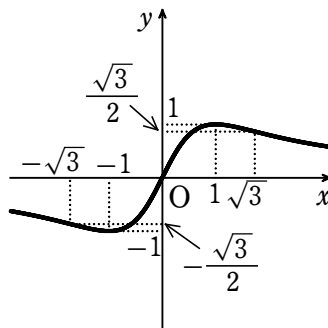
$x$	...	$-\sqrt{3}$	...	-1	...	0	...	1	...	$\sqrt{3}$	...
$y'$	-	-	-	0	+	+	+	0	-	-	-
$y''$	-	0	+	+	+	0	-	-	-	0	+
$y$	↘	変曲点 $-\frac{\sqrt{3}}{2}$	↘	極小 -1	↗	変曲点 0	↗	極大 1	↘	変曲点 $\frac{\sqrt{3}}{2}$	↘

ここで、

$$\lim_{x \rightarrow \infty} y = 0, \quad \lim_{x \rightarrow -\infty} y = 0$$

であるから、 $x$ 軸はこの曲線の漸近線である。

以上から、曲線の概形は図のようになる。



- ⑤ この関数の定義域は  $x \neq -2$  である。

$$y = x - 1 + \frac{1}{x+2} \text{ であるから } y' = 1 - \frac{1}{(x+2)^2} = \frac{(x+1)(x+3)}{(x+2)^2}, \quad y'' = \frac{2}{(x+2)^3}$$

$y' = 0$  となる  $x$  の値は  $x = -1, -3$   $y'' = 0$  となる  $x$  の値は存在しない。

よって、増減やグラフの凹凸は、次の表のようになる。

$x$	...	-3	...	-2	...	-1	...
$y'$	+	0	-	/	-	0	+
$y''$	-	-	-	/	+	+	+
$y$	↗	極大 -5	↘	/	↘	極小 -1	↗

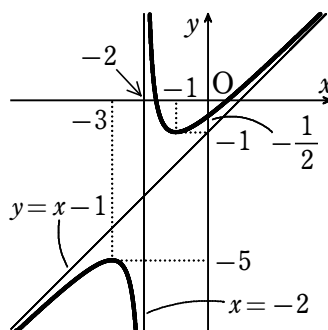
また、 $\lim_{x \rightarrow -2+0} y = \infty, \quad \lim_{x \rightarrow -2-0} y = -\infty$  であるから、

直線  $x = -2$  はこの曲線の漸近線である。

さらに、 $\lim_{x \rightarrow \infty} \{y - (x-1)\} = 0, \quad \lim_{x \rightarrow -\infty} \{y - (x-1)\} = 0$

であるから、直線  $y = x - 1$  もこの曲線の漸近線である。

以上から、この関数のグラフの概形は右の図のようになる。



- ⑥ (1)  $1 - x^2 \geq 0$  であるから、定義域は  $-1 \leq x \leq 1$   
 $-1 < x < 1$  のとき

$$y' = 1 + \frac{-2x}{2\sqrt{1-x^2}} = \frac{\sqrt{1-x^2} - x}{\sqrt{1-x^2}}$$

$$y'' = -\frac{1 \cdot \sqrt{1-x^2} - x \cdot \frac{-2x}{2\sqrt{1-x^2}}}{1-x^2} = -\frac{1}{\sqrt{(1-x^2)^3}}$$

$$y' = 0 \text{ とすると } \sqrt{1-x^2} = x$$

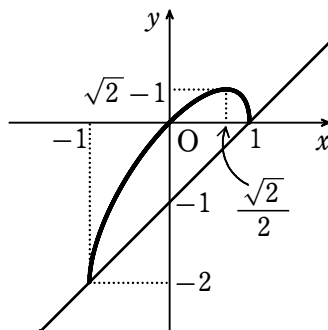
$$\sqrt{1-x^2} > 0 \text{ であるから } x > 0$$

$$\text{両辺を2乗して } 1 - x^2 = x^2 \quad \text{すなわち } 2x^2 = 1$$

$x > 0$  であるから  $x = \frac{\sqrt{2}}{2}$

$y$  の増減とグラフの凹凸は、次の表ようになる。

$x$	-1	...	$\frac{\sqrt{2}}{2}$	...	1
$y'$	/	+	0	-	/
$y''$	/	-	-	-	/
$y$	-2	↘	$\sqrt{2}-1$	↗	0



また  $\lim_{x \rightarrow -1+0} y' = \lim_{x \rightarrow -1+0} \left(1 - \frac{x}{\sqrt{1-x^2}}\right) = \infty$

$\lim_{x \rightarrow 1-0} y' = \lim_{x \rightarrow 1-0} \left(1 - \frac{x}{\sqrt{1-x^2}}\right) = -\infty$

よって、グラフは [図]。

[7]  $8-x^2 \geq 0$  であるから、定義域は  $-2\sqrt{2} \leq x \leq 2\sqrt{2}$

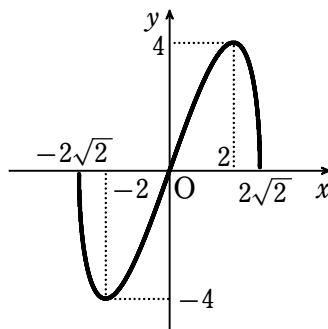
$-2\sqrt{2} < x < 2\sqrt{2}$  のとき  $y' = \sqrt{8-x^2} + x \cdot \frac{-2x}{2\sqrt{8-x^2}} = \frac{2(4-x^2)}{\sqrt{8-x^2}}$ ,

$y'' = \frac{-4x\sqrt{8-x^2} - 2(4-x^2) \cdot \frac{-2x}{2\sqrt{8-x^2}}}{8-x^2} = \frac{2x(x^2-12)}{(8-x^2)\sqrt{8-x^2}}$

$-2\sqrt{2} < x < 2\sqrt{2}$  で  $y' = 0$  とすると  $x = \pm 2$ ,  $y'' = 0$  とすると  $x = 0$

$y$  の増減とグラフの凹凸は、次の表ようになる。

$x$	$-2\sqrt{2}$	...	-2	...	0	...	2	...	$2\sqrt{2}$
$y'$		-	0	+	+	+	0	-	
$y''$		+	+	+	0	-	-	-	
$y$	0	↘	-4	↗	0	↘	4	↗	0



また  $\lim_{x \rightarrow -2\sqrt{2}+0} y' = -\infty$ ,  $\lim_{x \rightarrow 2\sqrt{2}-0} y' = -\infty$

よって、グラフは [図]



8  $y = \frac{\log x}{x}, y' = \frac{1 - \log x}{x^2}, y'' = \frac{2\log x - 3}{x^3}$

$y=0$  とおくと  $\log x = 0$  から  $x=1$

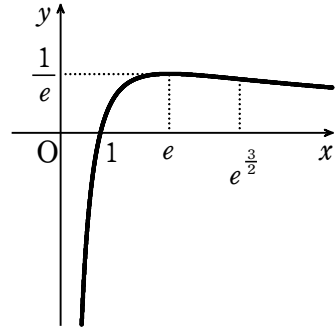
$y'=0$  とおくと  $1 - \log x = 0$  から  $x=e$

$y''=0$  とおくと  $2\log x - 3 = 0$  から  $x = e^{\frac{3}{2}}$

$x=e$  のとき  $y = \frac{1}{e}, x = e^{\frac{3}{2}}$  のとき  $y = \frac{3}{2e^{\frac{3}{2}}}$

$\lim_{x \rightarrow +0} y = \lim_{x \rightarrow +0} \frac{\log x}{x} = -\infty, \lim_{x \rightarrow +\infty} y = \lim_{x \rightarrow +\infty} \frac{\log x}{x} = 0,$

$x > 1$  で  $y > 0$  よって、グラフは図のようになる。



9  $f(x) = (x-1)^2 e^{-x}, f'(x) = 2(x-1)e^{-x} + (x-1)^2 \cdot (-e^{-x})$   
 $= (x-1)(2-x+1)e^{-x}$   
 $= -(x-1)(x-3)e^{-x}$

$f(x)$  の増減表は右のようになる。

よって、 $f(x)$  は  $x=3$  で極大値  $\frac{4}{e^3}$ ,  $x=1$  で

極小値 0 をとる。

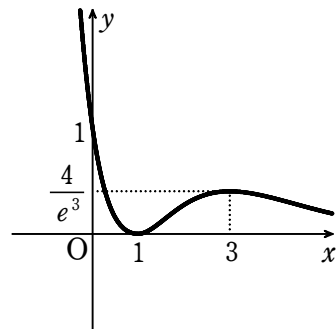
$x$	...	1	...	3	...
$f'(x)$	-	0	+	0	-
$f(x)$	↘	極小 0	↗	極大 $\frac{4}{e^3}$	↘

$\lim_{x \rightarrow \infty} f(x) = \lim_{x \rightarrow \infty} (x-1)^2 e^{-x} = \lim_{x \rightarrow \infty} (x-1)^2 e^{-(x-1)} \cdot e^{-1}$

$= 0 \cdot e^{-1} = 0$

$\lim_{x \rightarrow -\infty} f(x) = \lim_{x \rightarrow -\infty} (x-1)^2 e^{-x} = \infty$

$y = f(x)$  のグラフの概形は右の図のようになる。



10 (1)  $f'(x) = \frac{1}{1 + \sqrt{1-x^2}} \cdot \frac{-2x}{2\sqrt{1-x^2}} - \frac{-2x}{2\sqrt{1-x^2}} - \frac{1}{x}$

$= \frac{x}{\sqrt{1-x^2}} \left( 1 - \frac{1}{1 + \sqrt{1-x^2}} \right) - \frac{1}{x}$

$= \frac{x}{\sqrt{1-x^2}} \cdot \frac{\sqrt{1-x^2}}{1 + \sqrt{1-x^2}} - \frac{1}{x} = \frac{x(1 - \sqrt{1-x^2})}{(1 + \sqrt{1-x^2})(1 - \sqrt{1-x^2})} - \frac{1}{x}$

$$= \frac{x(1-\sqrt{1-x^2})}{x^2} - \frac{1}{x} = -\frac{\sqrt{1-x^2}}{x}$$

(2) (1)から,  $0 < x < 1$ において  $f'(x) < 0$   
 よって,  $y = f(x)$  は  $0 < x < 1$ で単調に減少する。

また  $\lim_{x \rightarrow 1-0} f(x) = 0$

$\lim_{x \rightarrow +0} \log x = -\infty$ であるから  $\lim_{x \rightarrow +0} f(x) = \infty$

したがって, グラフの概形は右の図のようになる。

(3) 点Pの座標を  $(t, f(t))$  ( $0 < t < 1$ )とすると, 曲線  $y = f(x)$  の点Pにおける接線の傾きは

$$f'(t) = -\frac{\sqrt{1-t^2}}{t}$$

よって,  $\overrightarrow{PQ}$  は  $\left(-1, \frac{\sqrt{1-t^2}}{t}\right)$  に平行で, 大きさが

1であるから

$$\overrightarrow{OQ} = \overrightarrow{OP} + \overrightarrow{PQ}$$

$$= (t, f(t))$$

$$+ \frac{1}{\sqrt{(-1)^2 + \left(\frac{\sqrt{1-t^2}}{t}\right)^2}} \left(-1, \frac{\sqrt{1-t^2}}{t}\right)$$

$$= (t, \log(1 + \sqrt{1-t^2}) - \sqrt{1-t^2} - \log t) + (-t, \sqrt{1-t^2})$$

$$= (0, \log(1 + \sqrt{1-t^2}) - \log t)$$

ゆえに, 点Qはy軸上を動く。

$$g(t) = \log(1 + \sqrt{1-t^2}) - \log t \quad (0 < t < 1)$$
 とおく。

$0 < t < 1$ において,  $\log(1 + \sqrt{1-t^2})$ ,  $-\log t$  はともに減少関数であるから,  $g(t)$  は減少関数である。

また  $\lim_{t \rightarrow +0} g(t) = \infty$ ,  $\lim_{t \rightarrow 1-0} g(t) = 0$

よって,  $g(t)$  のとりうる値の範囲は  $g(t) > 0$

以上から, 求める点Qの軌跡は 直線  $x = 0$  の  $y > 0$  の部分

